



1歳男児。お

ちんちんの先が

見えませんが、異常ではないでしょうか。



おちんちんの

先を包む皮膚

(包皮)の口が狭いため、おちんちんの先(龟头)を出せないものを真性包茎といえます。乳児ではこの状態が正常ですから、先端の皮膚をめくる必要はありません。5〜6歳ごろまでに7割位で先端が見えるようになります。

時に感染を起こすことがあります。先端が赤くなる、うみが出る、はれる、おしっこ

のときに痛いなどの症状があり、軟膏(こう)などの薬で治ります。予防には、常におちんちんの清潔を保つこ

とです。特に隠れている部分をひっくり返して、石けんで良く洗いましょう。

手術は全く先端の出な

おちんちんの先が見えない・・・乳児では正常

い場合に行いますが、乳幼児の皮膚はよく伸びて成長とともに自然に治ることが多いので、手術について定まったものではありません。

最近では、5〜6歳の真性包茎では軟膏を使用する方法がありません。手術が必要な場合は、感染を繰り返す場合や、嵌頓(包皮を引っ張って無理におちんちんの頭を出そうとすると、狭い皮膚で締め付けられて、先がひどくはれてしまうこと)、包皮のバルーニング(おしっこをするとき、包皮におしっこがたまってふくらんだり、おしっこが細くしか出なくなること)などがあります。心配のあるときは医療機関



子育て相談室

での相談を。

〈水戸市中丸町の平野こどもクリニック院長・

平野岳毅〉